



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月8日

上場会社名 エスアールジータカミヤ株式会社

上場取引所 東

コード番号 2445 URL <http://www.srg.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 高宮 一雅

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部経理部長 (氏名) 辰見 知哉

TEL 06-6375-3918

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日

配当支払開始予定日

平成29年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	17,875	2.0	804	16.7	840	13.5	608	44.7
29年3月期第2四半期	17,520	4.3	966	14.2	740	34.6	420	38.7

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 447百万円 (138.0%) 29年3月期第2四半期 187百万円 (61.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	14.22	13.79
29年3月期第2四半期	9.64	9.36

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	51,243	12,895	24.5	292.84
29年3月期	52,760	12,699	23.4	288.97

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 12,533百万円 29年3月期 12,338百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		3.50		6.50	10.00
30年3月期		4.00			
30年3月期(予想)				7.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,300	4.2	2,850	17.3	2,600	11.3	1,700	12.1	39.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	45,407,600 株	29年3月期	45,304,000 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	2,606,723 株	29年3月期	2,606,631 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	42,750,510 株	29年3月期2Q	43,581,739 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.311「当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、平成29年11月28日(火)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する四半期決算補足説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移したものの、一部諸外国の地政学的リスクなど、海外経済の行方に予断を許せない、依然として先行き不透明な状況でありました。

当社グループに関連する建設業界におきましては、首都圏を中心とした大規模再開発工事、東京オリンピック・パラリンピック関連事業など、受注環境は総じて堅調に推移しております。しかしながら、その一方で、建設労働者の不足、資材価格の高騰などの影響による、工事着工の遅れが、依然として懸念されております。

このような環境の中で、当社グループは、次世代足場「Iqシステム（アイキューシステム）」によるデファクトスタンダード獲得を目指すべく、販売・レンタル両面での拡販、さらにASEAN地域を中心とした海外展開を積極的に進めております。

当会計期間においては、国内では「Iqシステム」をはじめとする仮設機材における、開発、製造、販売、レンタルの一貫体制を強化し、グループ資産の運用効率や開発力の向上を図る事を目的に、ホリー株式会社の吸収合併の準備を進めております。

また海外では、フィリピン、韓国の海外子会社において、前期からの課題であった、内部管理体制基盤の構築が完了した事により、いよいよ積極的な営業活動を開始いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は、17,875,334千円（前年同期比2.0%増）、営業利益が804,627千円（前年同期比16.7%減）、為替差損が前期と比較し、大きく減少した事が起因し、経常利益が840,872千円（前年同期比13.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益が608,093千円（前年同期比44.7%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①販売事業

「Iqシステム（アイキューシステム）」について、顧客からの多様なニーズに対して、ソリューション提案を積極的に展開してまいりました。結果、受注環境は堅調に推移しております。しかしながら、親会社の資産投資が一巡した事による、セグメント間販売売上の減少、さらに、発電所建設案件の減少による、太陽光関連の販売売上の減少などが、販売事業全体の売上、利益ともに、前期を下回る要因となりました。

これらの結果、売上高は7,518,252千円（前年同期比9.0%減）、営業利益867,475千円（前年同期比22.3%減）となりました。

②レンタル事業

民間建築工事においては、堅調な建設需要の中で、「Iqシステム（アイキューシステム）」を中心とした、仮設機材の安全性・施工性に加えて、足場施工を併せた付加価値の高いサービスを顧客に提案してまいりました。結果、高い稼働で推移しております。しかしながら、土木・橋梁工事用の仮設機材においては、受注後、少しずつ出荷が開始しているものの、依然として工事着工の遅れが目立っており、低稼働で推移しております。収益面では、過年度における積極的な仮設機材の拡充により、減価償却費が増加しております。

これらの結果、売上高は10,458,818千円（前年同期比0.9%減）、営業利益600,787千円（前年同期比43.1%減）となりました。

③海外事業

DIMENSION-ALL INC.（フィリピン）及びホリーコア（韓国）において、前期からの課題であった、営業管理、在庫管理などの内部管理体制について、その基盤を強化してまいりました。以降、特にフィリピンにおきましては、旺盛な建設需要を背景に、積極的な営業活動をスタートしており、売上、利益ともに改善しております。その他の海外子会社においても、全社が黒字転換しております。

この結果、売上高は2,512,663千円（前年同期比29.7%増）、営業利益73,229千円（前年同四半期は営業損失101,261千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、51,243,341千円となり、前連結会計年度末と比べ1,517,151千円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金の減少1,172,871千円、受取手形及び売掛金の減少1,019,854千円、商品及び製品の増加426,902千円等によるものであります。

負債合計は、38,348,185千円となり、前連結会計年度末と比べ1,712,602千円減少いたしました。主な要因は、未払法人税等の減少533,941千円、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金含む）の減少1,422,556千円等によるものであります。

純資産合計は、12,895,156千円となり、前連結会計年度末と比べ195,451千円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金の増加330,560千円等によるものであります。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、535,088千円の収入（前年同四半期は42,017千円の支出）となりました。主な要因は、貸貸資産の取得による支出1,079,848千円、たな卸資産の増加額1,502,176千円等があったものの、税金等調整前四半期純利益838,887千円、減価償却費2,318,890千円等があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、817,037千円の支出（前年同四半期は612,212千円の支出）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出426,210千円、長期前払費用の取得による支出371,299千円等があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、863,249千円の支出（前年同四半期は713,457千円の収入）となりました。主な要因は、長期借入れによる収入1,513,000千円等があったものの、長期借入金の返済による支出2,922,706千円等があったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績につきましては、平成29年5月10日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,587,909	4,415,037
受取手形及び売掛金	10,189,280	9,169,426
商品及び製品	2,745,211	3,172,114
仕掛品	623,679	807,439
原材料及び貯蔵品	831,797	814,359
繰延税金資産	148,540	162,304
その他	588,403	791,273
貸倒引当金	△157,578	△155,667
流動資産合計	20,557,244	19,176,287
固定資産		
有形固定資産		
貸貸資産		
減価償却累計額	△19,560,884	△20,283,902
貸貸資産(純額)	18,723,139	18,279,331
建物及び構築物		
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,868,075	△2,946,099
建物及び構築物(純額)	2,674,367	2,601,942
機械装置及び運搬具		
減価償却累計額	△770,006	△837,140
機械装置及び運搬具(純額)	1,126,002	1,070,002
土地	5,277,847	5,275,837
リース資産		
減価償却累計額	△427,554	△418,812
リース資産(純額)	454,717	387,226
建設仮勘定	118,562	196,200
その他	910,328	934,349
減価償却累計額	△562,797	△603,101
その他(純額)	347,530	331,247
有形固定資産合計	28,722,168	28,141,787
無形固定資産		
借地権	327,821	327,821
のれん	110,950	87,671
リース資産	51,197	34,486
その他	149,694	150,732
無形固定資産合計	639,664	600,711
投資その他の資産		
投資有価証券	421,491	458,974
差入保証金	582,842	583,809
会員権	46,206	34,290
退職給付に係る資産	84,070	83,859
繰延税金資産	799,448	784,282
その他	969,007	1,439,544
貸倒引当金	△61,649	△60,208
投資その他の資産合計	2,841,416	3,324,553
固定資産合計	32,203,248	32,067,053
資産合計	52,760,493	51,243,341

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,971,664	5,694,250
短期借入金	5,163,530	6,116,129
1年内償還予定の社債	62,500	62,500
1年内返済予定の長期借入金	5,762,166	5,537,586
リース債務	202,507	172,366
未払法人税等	776,202	242,261
賞与引当金	229,602	247,044
設備関係支払手形	241,378	68,421
その他	2,196,593	2,192,809
流動負債合計	20,606,144	20,333,370
固定負債		
社債	612,500	581,250
長期借入金	15,403,972	14,205,995
リース債務	354,502	292,654
役員退職慰労引当金	47,365	26,590
退職給付に係る負債	853,787	847,969
資産除去債務	12,457	12,610
その他	2,170,058	2,047,745
固定負債合計	19,454,643	18,014,814
負債合計	40,060,788	38,348,185
純資産の部		
株主資本		
資本金	714,770	729,032
資本剰余金	1,208,857	1,223,120
利益剰余金	11,425,631	11,756,191
自己株式	△1,232,951	△1,233,001
株主資本合計	12,116,307	12,475,343
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46,873	71,605
繰延ヘッジ損益	△48,354	△37,810
為替換算調整勘定	241,387	40,327
退職給付に係る調整累計額	△17,842	△15,627
その他の包括利益累計額合計	222,063	58,494
新株予約権	271,176	268,284
非支配株主持分	90,157	93,034
純資産合計	12,699,704	12,895,156
負債純資産合計	52,760,493	51,243,341

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	17,520,062	17,875,334
売上原価	12,300,786	12,722,230
売上総利益	5,219,276	5,153,103
販売費及び一般管理費	4,252,991	4,348,476
営業利益	966,285	804,627
営業外収益		
受取利息	6,053	6,117
受取配当金	9,718	19,765
受取賃貸料	45,910	26,863
賃貸資産受入益	5,032	9,295
スクラップ売却収入	19,374	32,893
持分法による投資利益	47,490	73,024
為替差益	—	721
その他	58,882	47,955
営業外収益合計	192,462	216,638
営業外費用		
支払利息	106,126	106,756
支払手数料	38,386	50,942
デリバティブ評価損	2,093	586
社債発行費	17,789	—
為替差損	225,896	—
その他	27,534	22,106
営業外費用合計	417,828	180,392
経常利益	740,920	840,872
特別利益		
固定資産売却益	4,020	1,362
特別利益合計	4,020	1,362
特別損失		
固定資産除却損	3,899	3,347
減損損失	10,477	—
特別損失合計	14,376	3,347
税金等調整前四半期純利益	730,563	838,887
法人税、住民税及び事業税	351,367	249,193
法人税等調整額	△35,472	△21,234
法人税等合計	315,895	227,959
四半期純利益	414,667	610,927
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,449	2,834
親会社株主に帰属する四半期純利益	420,117	608,093

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	414,667	610,927
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,082	24,755
繰延ヘッジ損益	5,253	10,543
為替換算調整勘定	△253,425	△201,060
退職給付に係る調整額	19,420	2,215
その他の包括利益合計	△226,669	△163,545
四半期包括利益	187,998	447,382
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	193,409	444,524
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,410	2,858

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	730,563	838,887
減価償却費	2,210,963	2,318,890
減損損失	10,477	—
のれん償却額	17,219	16,823
賃貸資産除却に伴う原価振替額	91,693	72,979
賃貸資産売却に伴う原価振替額	61,004	118,998
賃貸資産の取得による支出	△876,688	△1,079,848
賃貸資産受入益	△5,032	△9,295
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△38,052	1,514
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,457	17,442
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	61,980	△4,789
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	835	△20,775
株式報酬費用	27,677	25,530
受取利息及び受取配当金	△15,771	△25,883
支払利息	106,126	106,756
為替差損益 (△は益)	293,640	14,483
有形固定資産売却損益 (△は益)	△4,020	△1,362
有形固定資産除却損	3,891	2,247
持分法による投資損益 (△は益)	△47,490	△73,024
デリバティブ評価損益 (△は益)	2,093	—
売上債権の増減額 (△は増加)	10,215	978,490
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,376,464	△1,502,176
仕入債務の増減額 (△は減少)	△213,950	△237,671
その他	△264,473	△167,920
小計	792,897	1,390,298
利息及び配当金の受取額	20,274	21,644
利息の支払額	△104,077	△101,187
法人税等の支払額	△751,111	△775,666
営業活動によるキャッシュ・フロー	△42,017	535,088

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△210,000	△210,000
定期預金の払戻による収入	210,000	210,000
有形固定資産の取得による支出	△713,836	△426,210
有形固定資産の売却による収入	10,196	1,362
無形固定資産の取得による支出	△22,574	△30,349
投資有価証券の取得による支出	△71,130	△1,554
資産除去債務の履行による支出	△15,200	—
会員権の取得による支出	—	△3,144
会員権の売却による収入	—	13,000
貸付けによる支出	△4,000	△5,300
貸付金の回収による収入	204,332	6,458
長期前払費用の取得による支出	—	△371,299
投資活動によるキャッシュ・フロー	△612,212	△817,037
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△15,600	969,444
リース債務の返済による支出	△136,702	△115,285
長期借入れによる収入	4,500,000	1,513,000
長期借入金の返済による支出	△2,902,087	△2,922,706
社債の発行による収入	482,210	—
社債の償還による支出	△601,250	△31,250
自己株式の取得による支出	△329,930	△50
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	103
配当金の支払額	△283,182	△276,504
財務活動によるキャッシュ・フロー	713,457	△863,249
現金及び現金同等物に係る換算差額	△44,306	△27,673
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	14,920	△1,172,871
現金及び現金同等物の期首残高	4,242,513	5,187,909
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,257,433	4,015,037

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間より、当社と吸収合併したことにより、株式会社タツミを連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	販売事業	レンタル事業	海外事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	6,052,946	10,361,839	1,105,276	17,520,062	—	17,520,062
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,210,708	188,050	832,325	3,231,084	△3,231,084	—
計	8,263,655	10,549,890	1,937,601	20,751,147	△3,231,084	17,520,062
セグメント利益 又は損失(△)	1,115,938	1,056,339	△101,261	2,071,017	△1,104,731	966,285

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1,104,731千円には、セグメント間取引消去△389,130千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△715,601千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

報告セグメントに配分されていない減損損失は10,477千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	販売事業	レンタル事業	海外事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	5,707,326	10,355,773	1,812,234	17,875,334	—	17,875,334
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,810,925	103,044	700,429	2,614,400	△2,614,400	—
計	7,518,252	10,458,818	2,512,663	20,489,734	△2,614,400	17,875,334
セグメント利益	867,475	600,787	73,229	1,541,492	△736,865	804,627

(注) 1. セグメント利益の調整額△736,865千円には、セグメント間取引消去△3,314千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△733,551千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。